



▲ 8月18日 全国離島交流館中学生野球大会 出陣式

令和5年8月21日(月)～25日(金)
鹿児島県奄美大島で国土交通大臣杯
第14回全国離島交流中学生野球大会
(離島甲子園)が行われ、全国の離島
から9都県、25チームが参加しました。
この大会は、元プロ野球選手で「ま
さかり投法」により通算215勝され
た、故 村田兆治氏が引退後、現役時
代の経験をもとに、離島球児たちにもつ
と大きな夢や目標をもたせたいとい
う想いで、離島球児たちにとっての「も
うひとつの甲子園」として、「離島中
学生野球大会」開催を提唱されたこと
から実現に至ったもので、地理的環
境から島外との交流機会の少ない全国の
離島中学生が堂に会し、野球を通じ
て「島」と「島」の交流が行われてい
ます。上島町からは、岩城中学校野
球部12名で構成されたチーム
「KAMIJIMA」が出場しました。
トーナメント戦では、長崎県杵岐市
の「杵岐市選抜」と対戦し、2-3と
残念ながら負けてしまいました。交
流試合では、開催地 鹿児島県奄美市
の「奄美市選抜ガジュマルズ」と対戦
し、4-2で見事に勝利しました。こ
の大会では、参加した選手たちが全国
の離島の仲間たちと野球とおして成
長する姿を見ることができました。来
年開催地予定の長崎県杵岐市では、
更なる活躍を期待しています。

国土交通大臣杯 第14回全国離島交流中学生野球大会 in 奄美大島



宮ノ浦遺跡第13次発掘調査現地説明会

令和5年8月12日(土)
11:00～12:00 晴れ
上島町弓削佐島2277番地2 宮ノ浦海岸
参加者40名

宮ノ浦遺跡 第13次発掘調査現地説明会

8月12日(土)に、佐島にあ
る宮ノ浦遺跡において、愛媛
大学法文学部考古学研究室と
町教育委員会による第13次発
掘調査現地説明会が開催され
ました。
第13次となる今年度の調査
では、宮ノ浦遺跡の東側に広が
る浜堤上に設定した調査区で
あるⅡ区で、縄文時代の文化
層の広がりや旧地形を明らか
にすること、古墳時代・古代
(奈良時代・平安時代)の製塩
活動の実態を明らかにすること
を目的に8月2日(水)から18
日(金)まで発掘作業を行いま
した。
その結果、多くの縄文土器
片や製塩土器片などを検出し、
当時の人々の生活や環境を復
元するための新たな知見を得
ることができました。
現地説明会では、参加者の
皆さんは発掘調査成果の説明
に耳を傾けられ、さまざまな
質問や議論が飛び交いました。
また、発掘体験では、学生の
説明を受けながら、多くの方
々に発掘調査の楽しさと奥深さ
を感じていただきました。



▲ 検出した縄文土器片や製塩土器片などの遺物



▲発掘体験風景

▲発掘調査成果の説明

▲熱心に聞き入る参加者